



秦野市立 **桜土手古墳展示館 だより**

Vol.60 SAKURADOTE ARCHAEOLOGICAL MUSEUM

平成 29 年度 夏-A 号

—はだの史・発見展—
ようこそ! 50 年前の丹沢へ
開催のお知らせ

桜土手古墳展示館では多くの方々に桜土手古墳展示館に足をはこんでいただき秦野の歴史や考古学などに興味をもつていただくことを目的とした展示会を定期的に行っています。今回、昨年より制定されました国民の祝日（8月11日）「山の日」に合わせ、わたしたちのふるさとの山 丹沢の歴史を振り返ってみます。お誘いあわせの上ぜひご来場ください。

期 間 平成 29 年 8 月 1 日(火) より
8 月 27 日(日) まで

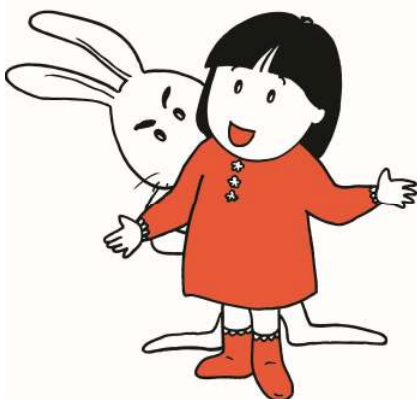
開館時間 午前 9 時より午後 5 時まで
(入館は午後 4 時 30 分まで)

注 記 8 月 26 日(土)午前中は講演会のため見学できません。

場 所 桜土手古墳展示館(秦野市堀山下 380-3) **入館無料**

会 場 1 階 映像室

内 容 昭和 40 年代の丹沢登山の写真や観光パンフレットを
展示します。また映像「丹沢の四季」などを上映します。



平成29年度 第2回 「ミュージアムさくら塾」開催決定

本年度第2回目のミュージアム桜塾の開催が決定いたしました。
今回のテーマは「蓑毛大日堂と秦野の寺社建築」です。

日 時 平成29年8月26日(土)

午前10時から正午まで

場 所 桜土手古墳展示館 映像室

申し込み 8月1日(火)より電話にて事前申し込みを受け付けます。

定員は70名です。(申し込み先着順)

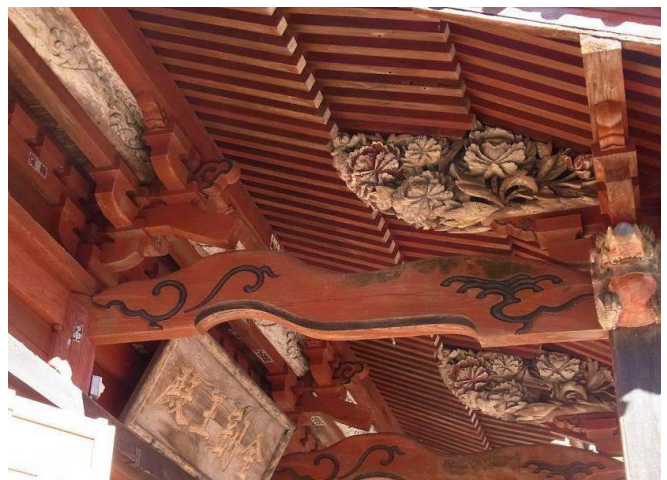
申し込み先電話 桜土手古墳展示館 0463-87-5542

参加費 200円(本年度より受講料が変更になりました ご了承ください)

内 容 登録有形文化財(建造物)として答申を受けた
蓑毛大日堂のほか 秦野の寺社建築を中心に
その特徴について講演いたします。



蓑毛大日堂



蓑毛大日堂 向拝海老虹染牡丹彫刻



蓑毛大日堂 仁王門



蓑毛大日堂 仁王門軒下

予告

平成 29 年度 第 3 回「ミュージアム桜塾」

第3回ミュージアムさくら塾が10月に予定されています。

テーマは「宇山商事・五十嵐商店と秦野の近代建築」(予定)です。

申し込みは少し先になりますのでしばらくの間お待ちください。正式に決定しましたら 市の広報とホームページでお知らせします。

展示館だより ミニレクチャー 秦野の原始・古代の遺跡めぐり 「古代編」

今回は2011年の展示館だよりに掲載した秦野の歴史についての解説の第5回目の再掲載です。



古墳時代、大和政権は地方の豪族に「国造(くにのみやつこ)」という称号を与え地方長官としました。律令期の神奈川県域の大部分をしめた相模国には「師長(しなが)国造」「相武(さがむ)国造」があったとされています。そして、秦野は両国造の境に位置しており、土師器甕の整形の違いから師長国造であったと考えられています。その違いは師長域では調整に刷毛目で 相武域では、ヘラ削りで行われていたのです。その後、律令期になると両国は「相模国」に再編されます。また、この時期、国・郡・郷(里)制がしかれ相模国は 8 郡 66 郷

にわかれていました。そして、秦野の大部分は「余綾郡幡多郷」と呼ばれていました。

さて、古墳時代後期になるまでほとんど人が住んでいなかった秦野盆地ですが、6世紀後半以降大きなムラが2つ出現します。ひとつは現在の曽屋高校周辺の草山遺跡、そして、もう一つは秦野赤十字病院周辺の西大竹尾尻遺跡群です。両遺跡合わせると竪穴建物跡が461軒、掘立柱建物跡316棟も発見されています。また、両遺跡は古墳後記に営まれ始め、10世紀には集落の終焉を迎えます。そこで、草山遺跡を例に当時の様子を簡単に見てみましょう。

草山遺跡は、金目川左岸台地上に位置し、14回程の発掘調査が行われています。そして、縄文時代から中世までの遺構遺物が確認されており、また、古墳時代後期から平安時代までの竪穴建物跡193軒、掘立柱建物跡201棟が発見されています。古代の集落が出現し始めるのは6世紀後半であり、台地の南側に成立します。そして、時が経つにつれ居住域は北側へと広がっていき、9世紀後半には台地全域に広がりピークに達します。ところが10世紀には台地の北側に居住域が移っていき、規模も小さくなっていきます。最終的に10世紀中ごろには集落の終焉をむかえます。神奈川県ほかの地域でも多くの集落が10世紀を境になくなるのがわかっています。それでは、そこに住んでいた人々はどこへ行ってしまったのでしょうか。文献史学では、律令国家から王朝国家へと移行したのが10世紀ごろだと考えられており、古代史の画期となっています。また、地方において

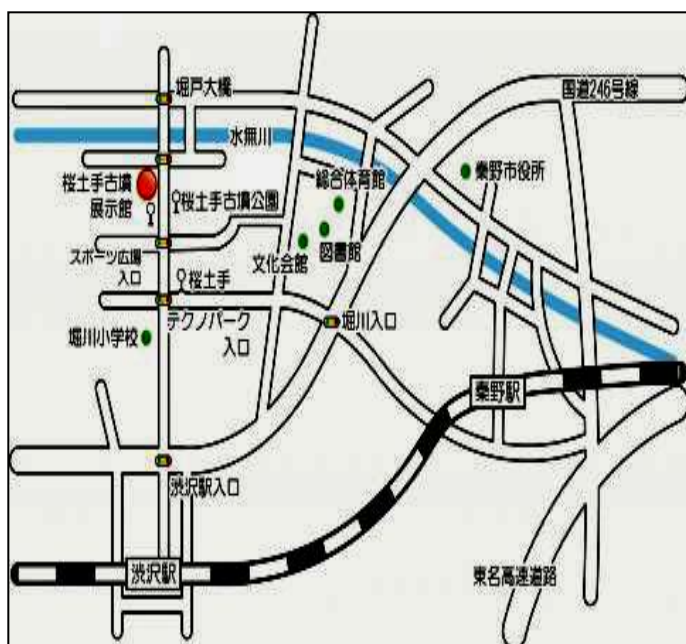
も同時期に社会システムが変化した時代でもあったといえます。そのような変化に対応するため集団は、分散して移住した結果、当時の集落の発見が難しくなっているのかもしれませんが。そのような歴史のなかで蓑毛の宝蓮寺の木造聖観音菩薩立像は11世紀までさかのぼる可能性があり、11世紀当時、この秦野の地に人がすんでいたという証になります。その後時代は武士が活躍する中世へと突入していくのです。

(次回 最終回 中世へつづく)

宝蓮寺について：蓑毛の宝蓮寺 大日堂には木造大日如来坐像を中心に五体の如来像と、客仏として木造観音菩薩立像が安置されています。ともに平安時代の作と推定されています。

茶湯殿 丈六(一丈六尺=約4.85m)にせまる法量を持つ地藏坐像を本尊に、等身の十王坐像、奪衣婆坐像、俱生神立像(司命・司録)、鬼卒坐像が安置され、人頭杖・鏡台などの付属具もそなわっています。十王坐像には享保6年(1721)の年紀と江戸時代の大仏師左近の墨書銘があり、高い資料的価値を有しています。

大日堂の前に建つ仁王門、その左右に阿吽一對の像が安置されています。作風は慶派系のような力強い仁王以前の穏やかさがみられ造形や面貌から制作は12世紀半ばごろと推察されています。神奈川県下においても現存最古の本格的作例といえ、平安期に遡る作例として極めて重要なものといえます。



<桜土手古墳展示館へのアクセス>

☆小田急線渋谷駅北口より徒歩20分

〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

〃 バス秦08 秦野駅行「桜土手」下車 徒歩10分

〃 渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

☆小田急線秦野駅北口より

〃 バス秦54 渋谷駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

〃 バス秦08 渋谷駅北口行「桜土手」下車 徒歩10分

☆ 入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜休館) 駐車場有
(入館は午後4:30までです)

桜土手古墳展示館だより Vol. 60号 平成29年度夏-A号

発行日 平成29年7月24日

編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ： 桜土手古墳展示館

検索